

# 公共施設を戦略管理

## 統合型DB共同開発

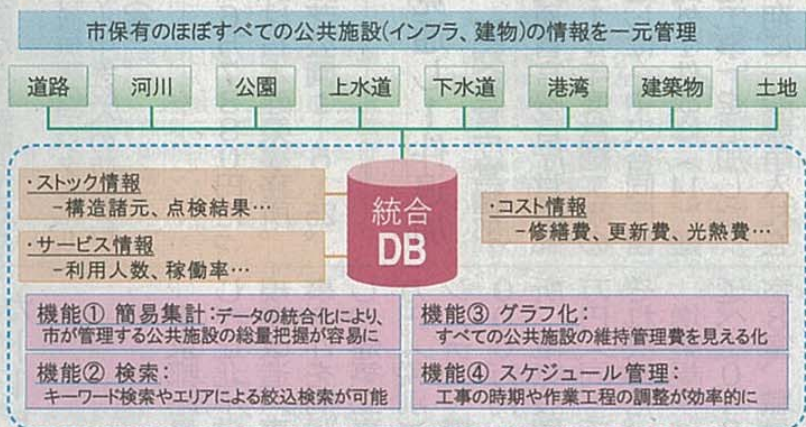
オリコンサルら

オリエンタルコンサルタンツ、静岡県焼津市、名古屋工業大学の3者は、公共施設の管理や国土強靱化を戦略的に進めるツールとなる統合型公共施設データベース（DB）を共同で開発した。同データベースの構築は全国の自治体で初という。焼津市が保有する道路、河川、公園、上水道などほぼすべての公共施設を対象に、異なるデータ構造で

ある各施設データの複数検索や図表化機能を兼ね備えた。データの統合化により、市が管理する公共施設の総量把握が容易になるほか、キーワード検索やエリアによる絞り込み検索が可能になる。また、すべての公共施設の維持管理費がグラフにより「見える化」されるとともに、工事の時期や作業工程の調整が効率的になる。

データベースの構築によって、▽公共施設など総合管理計画の策定支援▽公共施設のメンテナンスサイクルの維持修繕のスケジュール、履歴などの情報の一元管理▽公会計

### 統合型公共施設データベースの概要



統合型公共施設データベースを活用し、公共施設等の総合的かつ計画的な管理を推進

- ① 将来のまちづくり
- ② 公共施設等の事業管理
- ③ 国土強靱化

システムと連動した固定資産台帳——といった行政サービスが展開できるとしている。焼津市は、2015年度か

らデータベースを導入し、公共施設全体のデータ管理、維持修繕のスケジュールと履歴の管理に活用する予定だ。